

展示図書リスト 山梨日日新聞読書欄掲載「図書館司書が薦める こんな時この一冊」

新聞掲載日	テーマ	紹介図書
令和2年4月12日	小説を映画でも楽しみたいければ	『さくら』 西 加奈子／著 小学館 2005年
令和2年4月26日	特別感のある食器を選びたいなら	『ゼロから分かる！ やきもの入門』 河野恵美子／監修 世界文化社 2017年
令和2年5月10日	もっと科学的に納得したいなら	『ネコもよう図鑑』 浅羽弘／著 化学同人 2019年
令和2年5月24日	「めでたし、めでたし」に飽きたなら	『へそまがり昔ばなし』 ロアルド・ダール／著 灰島かり／訳 評論社 2002年
令和2年6月14日	紫陽花の青に目を奪われたなら	『植物のひみつ 身近なみどりの“すごい”能力』 田中修／著 中央公論社 2018年
令和2年6月28日	信玄の父 信虎を知りたいのならば	『武田信虎 覆される「悪逆無道」説』 平山優／著 戎光祥出版 2019年
令和2年7月12日	その「足跡」に気がついたなら	『かくて行動経済学は生まれり』 マイケル・ルイス／著 文藝春秋 2017年
令和2年7月26日	葛の魅力を楽しみたいなら	『葛の本 INOUE TENGYOKUDO 150th Anniversary』 井上天極堂／監修 金壽堂出版 2020年
令和2年8月9日	海外文学をさらに楽しむなら	『BOOKMARK』 金原瑞人・三辺律子／編 CCCメディアハウス 2019年
令和2年8月23日	秋の味覚を待ちきれないならば	『ききりんご紀行』 谷村志穂／著 集英社 2019年
令和2年9月13日	読書の秋に浸るなら	『書物の王国 1 架空の町』 J.L.ボルヘス／ほか著 国書刊行会 1997年
令和2年9月27日	他人との関わりに疲れたなら	『ことり』 小川洋子／著 朝日新聞出版 2016年
令和2年10月11日	サバが好きなら	『サバが好き！』 池田陽子／著 山と溪谷社 2018年
令和2年10月25日	香りに秋を感じたならば	『日本人なら知っておきたい樹木と野草248 季節を知らせる花』 金田初代／文 金田洋一郎／写真 講談社 2016年
令和2年11月8日	未来に不安を感じたなら	『虫とゴリラ』 養老孟司・山極寿一／著 毎日新聞出版 2020年
令和2年11月22日	本が好きな人なら	『モンテレヅジョ 小さな村の旅する本屋の物語』 内田洋子／著 方丈社 2018年
令和2年12月13日	大掃除に手をつけかねているなら	『清掃は「いのち」を守る仕事です。』 松本忠男／著 辰巳出版 2020年
令和2年12月27日	スポーツへの理解を深めたければ	『新版 スポーツの歴史と文化』 新井博／編著 道和書院 2019年
令和3年1月9日	人との距離が希薄になる時代に	『村田エフェンディ滞土録』 梨木香歩／著 角川書店 2004年
令和3年1月23日	つい夜更かししてしまうなら	『眠れる美しい生き物』 関口雄祐／著 エクスナレッジ 2019年
令和3年2月13日	地元の先人を知るならば	『永遠の最強王者ジャンボ鶴田』 小佐野景浩／著 ワニブックス 2020年
令和3年2月27日	小さなつぼみを見つけたなら	『たんぽぽの秘密』 森乃おと／著 雷鳥社 2020年
令和3年3月13日	どんぶりが食べたくなったら	『天井 かつ井 牛井 うな井 親子井 日本五大どんぶりの誕生』 飯野亮一／著 筑摩書房 2019年
令和3年3月27日	日本語を味わいたいならば	『声でたのしむ 美しい日本の詩』 大岡信・谷川俊太郎／編 岩波書店 2020年

新聞掲載日	テーマ	紹介図書
令和3年4月10日	好きな仕事がつらく感じたら	『この世にたやすい仕事はない』 津村記久子著 日本経済新聞出版社 2015年
令和3年4月24日	わさびを楽しみたいなら	『わさびの日本史 鮎・蕎麦・刺身…和食との出会いを探る』 山根京子／著 文一総合出版 2020年
令和3年5月8日	木の香りに浸りたかったら	『薪を焚く』 ラーシュ・ミッティング／著 朝田千恵／訳 晶文社 2019年
令和3年5月22日	しりとりで勝ちたいなら	『日本語をつかまえろ！』 飯間浩明／文 金井真紀／絵 毎日新聞出版 2019年
令和3年6月12日	SDGsな生活を始めるなら	『ぼくは縄文大工』 雨宮国広／著 平凡社 2020年
令和3年6月26日	「裏側」に気付きたいなら	『世紀の空売り 世界経済の破綻に賭けた男たち』 マイケル・ルイス／著 文芸春秋
令和3年7月10日	並はずれた世界をのぞきたいなら	『標本バカ』 川田伸一郎／著 ブックマン社 2020年
令和3年7月24日	蚊に憎しみを募らせたなら	『生き物の死にざま』 稲垣栄洋／著 草思社 2019年
令和3年8月14日	涼しげな姿に惹かれたならば	『金魚』 岡本 信明, 川田 洋之助／著 KADOKAWA 2015年
令和3年8月28日	過ぎゆく夏を惜しむなら	『すいかの匂い』 江國香織／著 新潮社 2000年
令和3年9月11日	苦手なことに挑戦したいなら	『なんでわざわざ中年体育』 角田光代／著 文藝春秋 2016年
令和3年9月25日	カレーをもっと味わうならば	『カレーの世界史』 井上岳久／著 SBクリエイティブ 2020年
令和3年10月9日	散歩を楽しむならば	『野の花さんぽ図鑑 木の実と紅葉』 長谷川 哲雄／著 築地書館 2011年
令和3年10月23日	日記を書く意味を考えると	『富士日記』上・中・下 武田百合子／著 中央公論新社 2019年
令和3年11月13日	これからの政治を考えるなら	『石橋湛山の65日』 保阪正康／著 東洋経済新報社 2021年
令和3年11月27日	月との繋がりを振り返るなら	『図説100のトピックでたどる月と人の歴史と物語』 デイヴィッド・ウォームフラッシュ／著 原書房 2021年
令和3年12月11日	時間の謎に迫りたいなら	『時間大図鑑』 原田知広, 田中真樹／監修 ニュートンプレス 2021年
令和3年12月25日	クモの巣を見つけたときに	『クモの糸でバイオリン』 大崎茂芳／著 岩波書店 2016年
令和4年1月8日	旅が難しい今ならば	『地上に星座をつくる』 石川直樹／著 新潮社 2020年
令和4年1月22日	バードウォッチングをするなら	『鳥類学者だからって、鳥が好きだと思うなよ。』 川上 和人／著 新潮文庫 2020年
令和4年2月12日	春を迎えるのが憂鬱なら	『花粉症と人類』 小塩 海平／著 岩波書店 2021年
令和4年2月26日	空を飛ぶ不思議に迫りたいなら	『空を飛べるのはなぜか』 秋本俊二／著 SBクリエイティブ 2018年
令和4年3月12日	別れの季節が寂しいなら	『出会いなおし』 森絵都／著 文藝春秋 2017年
令和4年3月26日	植物の香りを楽しむならば	『かぐわしき植物たちの秘密 香りとヒトの科学』 田中 修, 丹治 邦和／著 山と溪谷社 2021年